

## 第9回 満月の夜開く



# けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」

昔から祭りは満月の夜に開かれてきました。“けいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」“は、そんな満月の夜に「文明の未来と人類の幸福」について考える会です。高等研の庭にはゲーテの胸像があります。その視線は「フクシマ」のほうを見やりつつ、近代文明の現状を憂いているかのようにではありませんか。

けいはんな学研都市の建設理念は、「従来の近代科学技術文明を乗り越え、新たな地球文明を創造するために、西欧が生み出した文明の成果と自らに固有の東洋的文化を総合する」ことにあります。ゲーテの胸像はその理念のシンボルです。今宵、ゲーテに立ち返りながら、近代科学文明のあり方を一緒に再考してみませんか。

(2013年8月21日開催の発足会案内より抜粋)

日時 2014年4月16日(水) 18:00~20:30

場所 公益財団法人国際高等研究所 コミュニティホール・庭園

講演 近代科学をいかにして超えるか—自然と人間との関係性を考える— (Part V)

## これからの科学のあり方と 地下資源文明の転換期について

講師：池内了先生

【講演要旨】2月の会に引き続き、残された話題である「等身大の科学」と「地下資源文明の転換期」について述べる。「等身大の科学」とは対象が等身大で、金がかからず、誰でもが参加できる科学のことである。現在の、日常のサイズから遠ざかり、巨額の予算を必要とし、エリートしか参加できない科学と対極のもので、将来の科学のありようとして提案したい。また、近未来においては地下資源文明から地上資源文明への転換が必然であり、ドイツはそのことを視野に入れたエネルギー政策を進めつつある。ところが、このままの日本なら2周遅れになってしまうと予想される。現在は「地下資源文明の転換期」と明確に捉え、そのために科学・技術がどうなるのが望ましいかを議論したい。

【講師略歴】1944年生まれ。総合研究大学院大学名誉教授。専攻は宇宙物理学、科学・技術・社会論。主著に『科学と人間の不協和音』(角川 one テーマ 21)、『科学の限界』(ちくま新書)、『現代科学の歩き方』(河出書房新社)があり、近刊として『科学・技術と現代の社会』(みすず書房)の出版を予定している。

参加費 2,000円(講演終了後の交流・懇談会費用を含む)

定員 40名(先着順)

申込 「参加申込書」(裏面)によりお願いいたします

主催：公益財団法人国際高等研究所

満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」(略称：けいはんな「ゲーテの会」)

協力：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川、ドイツ連邦共和国総領事館(予定)

公益財団法人  
国際高等研究所  
International Institute for Advanced Studies

# 参加申込書

- 下記に必要事項を記入して、FAX 又は郵送でお申し込みください。
- E-mail でのお申し込みの場合は、以下の内容を記載してお申し込みください。
- なお、申込書記載の個人情報は、当会の開催ご案内等を行うために使用させていただきますが、外部に公開することはありません。

◆ お問い合わせ、お申し込み先 ◆

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地  
 公益財団法人国際高等研究所 事業部  
 けいはんな「ゲーテの会」事務局 (担当：竹島)  
 E-mail : goethe0828@iias.or.jp FAX : 0774-73-4005

第9回 満月の夜開く けいはんな哲学カフェ 「ゲーテの会」  
 2014年4月16日(水)開催

お名前		
ご所属		
部署		
役職		
連絡先	ご住所	
	TEL	FAX :
	E-mail	

■ 会場案内

